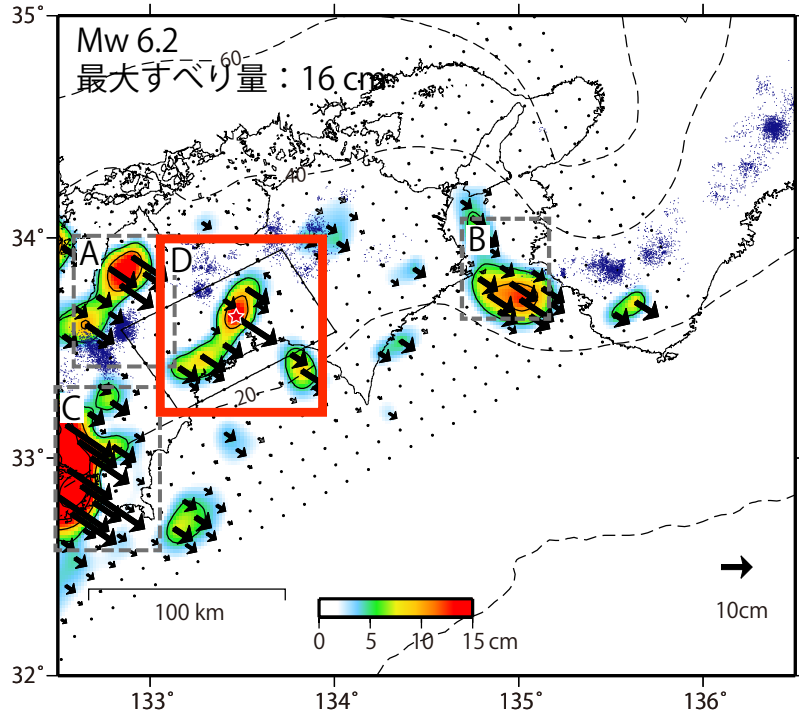


GNSSデータから推定された四国中部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

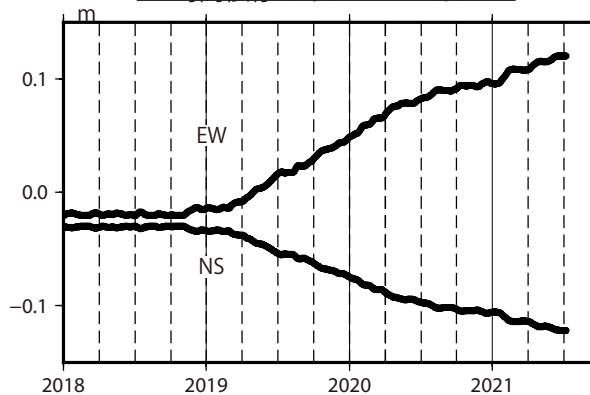
推定すべり分布
(2019/1/1 - 2021/7/7)



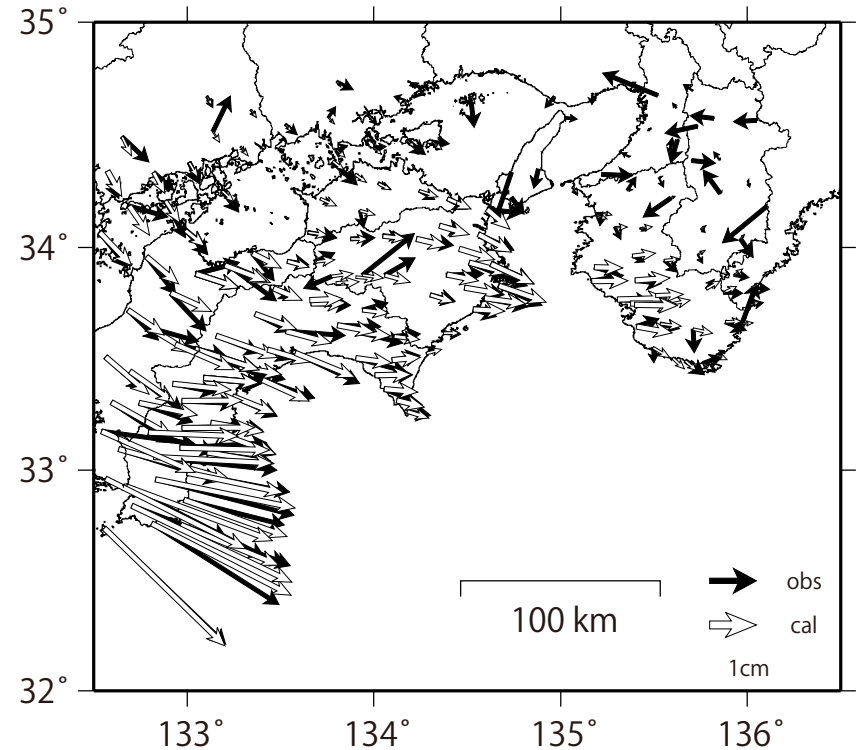
推定したすべり量が標準偏差 (σ) の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

- A 四国西部の短期的ゆっくりすべり
- B 紀伊水道の長期的ゆっくりすべり
- C 豊後水道の長期的ゆっくりすべり
- D 四国中部の長期的ゆっくりすべり

グリッド (★) におけるすべりの時間変化
時間依存のインバージョン



観測値 (黒) と計算値 (白) の比較
(2019/1/1 - 2021/7/7)



使用データ：F5解 (2019/1/1 - 2021/6/26) + R5解 (2021/6/27 - 2021/7/7)
 ※電子基準点の保守等による変動は補正済み
 トレンド期間：2017/1/1 - 2018/1/1
 (年周・半年周成分は2017/1/1 - 2021/7/7のデータで補正)
 モーメント計算範囲：左図の黒枠内側
 観測値：3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値
 黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線 (弘瀬・他、2007)
 すべり方向：プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束
 青丸：低周波地震 (気象庁一元化震源) (2019/1/1 - 2021/7/7)
 固定局：網野

※ Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
 (前回までの資料は水平面に投影したすべり量で評価。今期間について、
 前回と同じ方法で評価した場合、Mwは6.2、最大すべり量は16cm。)